

天野産業のBCへの取組み

令和5年7月14日(金)

令和5年度 中国地方防災研究会 第1回講演会

天野産業株式会社 古江 早苗

会社概要

名称	天野産業株式会社
業種	総合建設業
設立	1969年
資本金	6,000万円
代表者	天野 和彦
従業員	65名
本社所在地	岡山県笠岡市七番町1番地76
主な取引先	国土交通省中国地方整備局、 岡山県、笠岡市



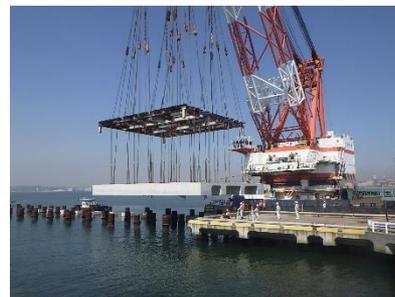
道路工事



港湾工事(浚渫)



港湾工事(棧橋上部工)



建築工事(笠岡市学校給食センター)



〔天野産業・荒木組JV〕

【BCP/BCMに関する主な取組】

年 度	BCP/BCMに関する取組	
H24年度	H24年 7月 H24年11月 H25年 2月	BCP策定開始 BCP第1版策定(随時更新) 中国地方整備局BCP認定制度 認定 (以降更新)
H25年度	H26年 3月	ISO22301 (BCMS) 認証取得 (以降更新) ●建設会社として全国で初めて、岡山県下においても初めての認証取得
H27年度	H28年 3月	BCAOアワード2015 特別賞・優秀実践賞 受賞 〔 特定非営利活動法人 事業継続推進機構 〕
H28年度	H28年 6月 H28年 7月	災害時等における建設会社間の相互支援に関する協定締結(なでしこBC連携へ加入) レジリエンス認証登録(国土強靱化貢献団体の認証制度) (以降更新)
R3年度	R 4年 2月	岡山県BCP認定制度(3つ星)認定

事業継続力向上の効果【その1】

H27.1 鳥インフルエンザ発生時の対応(岡山県笠岡市)

現地対策本部の設営

〔 テント設営 22基 〕



消毒ポイント(設営・作業)



【 降雨対策 】



事業継続力向上の効果【その2】

H30.7 西日本豪雨時の対応

●7月7日（土） 豪雨の翌朝、被災状況が明らかに

中国地方整備局 岡山国道事務所 ホームページ(お知らせ)より
〔国道180号 総社市種井付近〕



△総社市美袋洞門における瓦礫堆積状況

●7月8日（日） 応急復旧に着手



△総社市美袋洞門における瓦礫撤去作業

教育・訓練

【自然災害】

社内教育



実動訓練



現場単位の教育 (協力会社の方も一緒に)



安全衛生大会での講演



【新型コロナウイルス】
集合教育が出来ないので
非接触での方法とした。

新型コロナに対する
意識調査アンケート作成



全職員から回答



集計後、コメントをつけて
フィードバック

新型コロナウイルス感染症に関する意識調査	
お疲れ様です。 新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）に関する質問に回答下さいますよう、 お願い致します。正直にお答え下さいますよう、お願い致します。 今後の事業継続に伴う意識調査の一環として使用させていただきます。	

新型コロナウイルス感染症に関する意識調査の結果	
お疲れ様です。 先日、皆様にご協力頂きました意識調査の結果を報告させていただきます。 今回、集計結果と共に新型コロナ対策に取り組まなければならない理由等も記載させて頂いて おります。必ず目を通して頂けますよう、お願い申し上げます。	
①	自分は新型コロナにかからない自信がある。
4	YES
53	NO
上記でYESと答えられた方は、「自分なりの対策を講じている」「自宅以外出ていない」と いった方でした。ただ現在、仕事で自宅から出ていたり、協力会社や発注者とも接触がある 以上、感染リスクはあると考えて頂きたいと思っております。ご存知とは思いますが、建設現場での 感染や社内クラスターといった事例もあります。「誰もが感染リスクがある」ということを 認識して頂きたいと思っております。	
②	出社前（自宅を出る前）に検温をしますか。
33	YES
24	NO
今回の調査回答でNOだった人の回答としては、大きく3つに分かれました。	
自宅に体温計がない	6名
出社してから検温している	13名
時間が無い	3名
約4割の方が「出社前に検温を行っていない」という結果となりました。 会社の方針としては、2月に周知したとおり「出社前に検温を行う」ことを求めています。	

--

--

があった

--

--

--

--

道路啓開等の災害初動期を女性目線で考える図上演習

大規模災害発生初動期に、様々な機関・事業所が知り得た情報を共有することで、人命救助・道路啓開等のようなことが出来るかについてシナリオに沿い、図上演習を実施し、課題を検討しました。

(産:なでしこBC連携企業、官:四国地方整備局、徳島河川国道事務所、徳島県、徳島県警察、陸上自衛隊 等)



i-Construction見学会

- ・ICT施工見学
- ・ドローンによる空撮



津波避難センター視察

高知市の種崎地区舟倉津波避難センターを視察しました。



なでしこパトロール

女性目線でのチェックによって、建設現場の環境改善に繋がっています。社外の方からの意見は、いつもと違った気づきがあります。

現在は、オンラインを活用しながら継続しています。



ご清聴ありがとうございました

